



近世之拾六款標

伊地和文庫  
文庫20  
258





文庫 20  
258

今村  
龍堂



伊地知氏書冊

是ハカキキキキキキキキキ



後水尾乃上皇御あり居らせ給ひ  
一此の御もたしひかた御もたされ  
直き御心小白妙のちみ井御公置  
給ひ侍下目より一と世於人等の  
やまの歌おがーとけしと平らあり

六件お撰らせ給ひ

東福門院の御屋御建を御  
おんせさまあり一と今世おはあ  
あゝ長柄のはけ御橋柱は御  
朽るしも御さあひ一と風を  
老人さささるりて橋あさるに



おのまじくゆきと流れはに  
あふりはみほのまのまじく  
玉棧はふたありはるるに  
福ふとちのれり

安田貞雄

丸  
炭炭竈 平常縁

さうちのはる燈

あつた

炭炭竈



あつた

あつた



海元 津守國

の山

少きあをき

あま



み

の

いと

あ

ふる

あ

あ

山月 入簾 津通元

あまのあのは

ま

ま

あ

あ

山の端月





春祝言 柴屋宗長

おろけなるいふ  
人の



ある片だけ

いふ我の

宗 舟 意

月村 宗 願

古のれり

おの  
いふ



いふ君

いふ



月あ原 永周

きんそじ

を井の原れ

あよりと

あろりき

ぬる



暖雪 沙門 正徹

あ〜こきれを井

遠ふ

花きうと

あれう相

〜るはるの

あまほの





神邊窓

少門  
正廣

釣簾れか

あ

あらの  
しりや  
月の

そりれ

ちき

うみ

たの

のい



浦棲衣

耕宗

通哉

軒

あふ

いさ

うし

り

延平人

あは





冬野 太田持資

かき衣まきとけの

いれまじ

保乃君

うきも

あまうきあまうき



寒き風

三好

長安

あふささ入江ふ

ささる風ささ

河の松

あま

あま

あま





徳高 宗養

凡そませし何そ色

あまのこころを

ゆきもじすいぬ

徳高 宗養



関雪 伊達政宗

こころをまじりて

執心 伊達政宗

関雪

こころをまじりて

雪





梅馬留袖 通興

雜袖ふ あ は れ

あ は い と 梅 の 元

あ は い と

散袖の あ は い と

あ は い と



遠里翁 里見玄陳

あ は い と

あ は い と

あ は い と

あ は い と

あ は い と





待元 佐門田  
昌俊

くーの山

くーのまのの

おが

か

ふ

い

ら



に家  
ゆめ  
尚鏡

やまの山

うら

あ

う

あ





月思 本下  
長宙

世に人の月々

さあ

かみそり

おろし

あつ油



名  
同月 種お店  
宗祇

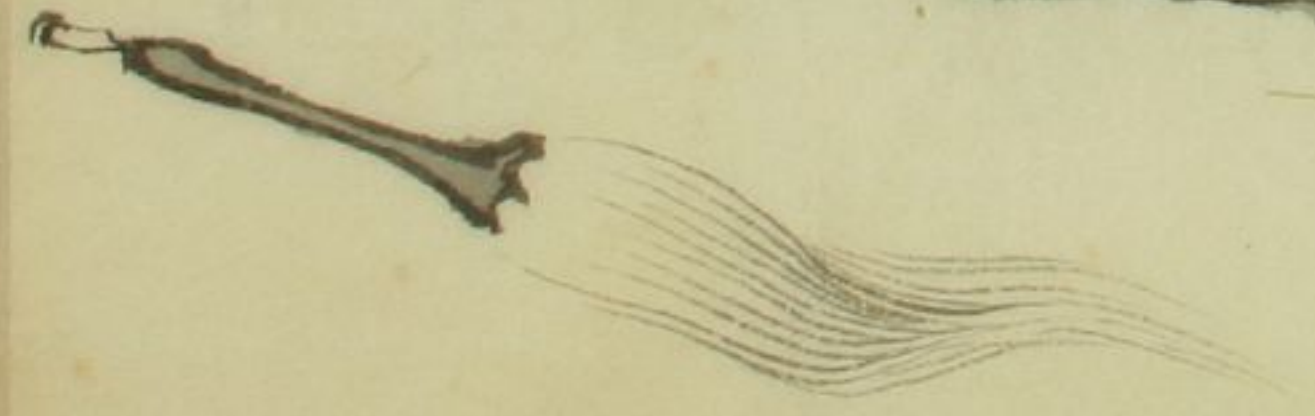
清見ふあゝ明

やぬ笑の戸を誰

あゝ

あゝ

月





月影 沙門  
本懐 心致

長しと哀み  
帰ふとも  
まゝぬ身と



月影  
那

秋あふる夢

梅井基虎

ちいしこの程をそ

うえり

由免那

夜に藤系





月子あ  
牡丹元  
本懐  
有祐



お  
桜か  
三人の  
か  
月か  
みハ

山下悦  
憺川親當



ふれ  
人す  
席  
か  
山  
あ  
の  
か



曉神樂安達之康

うぬふあはれあつめ

ちか〜あはれあはれ

神代

う〜

すの

あ

あ



佛名夕

唯口高

紹巴

夕〜あはれあつめ

みかを

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ





雨の時雨 宗叔

ふはぬこ

秋のくされ

あまー

うらな

あま

あま



田鹿 細川言旨

こま

お田子

鹿

あま

あま









用居

小幡氏康

中へあまのよめい

なほちか

け

かきあまのすね

己の下居



松同

武田信玄

あまのよめい

あまのよめい

あまのよめい

あまのよめい

あまのよめい





宗松祝 北條 氏改



おれ控 まつ  
君の ち  
いさ  
すみ  
よあ  
の喜

河 今川 氏真  
み月あ

聖門  
の  
若  
み月あ  
の





宗枕意 里村 昌叱

あはれと母

うしなも今ハ

あはれと母

あはれと母

あはれと母



河邊 小堀 政一

あはれと母

あはれと母

あはれと母

あはれと母

あはれと母





月 松永貞徳



か  
み  
の  
こ  
の  
い  
の  
月  
ふ  
の  
振  
り  
の  
母

作者姓名

大 方

平 常 縁

津 守 團 進

津 通 尼

柴 屋 宗 長

月 村 高 宗 碩

永 用

東 下 野 守

津 團 治 玄 社 人

足 利 將 軍 義 晴 公 母 堂

連 歌 師 宗 祇 氏

連 歌 師

追 考



釋 正徹

東福寺書記

釋 止廣

正徹和歌人

耕田之也魚載

連歌師 菅名氏

太田持資

左衛門大夫入道通灌

三好長慶

修理大夫

宗 賴

追考

伊達政宗

左京大夫

魚 興

連歌師 魚載人

里見玄陳

連歌師

依川田昌俊

永井信康家主 虎田喜三

尚 證

追考

木下長嘯子

若校少將勝俊

右方

種玉菴宗祇

飯尾氏東野卅人

心 敬

北嶺十位心院連歌師

基 佐

櫻井中務丞連歌師



牡丹花月杓

蜷川親當

安達冬康

紹巴

宗牧

細川玄首

心前

免利元就

連歌師夢菴

新左衛門

三好長慶舍弟

松村氏連歌師

宗長子也

式部大夫藤孝二位法印

心敬門人

右馬頭

北條氏康

武田信玄

北條氏政

今川氏真

昌叱

小堀政一

松永貞徳

左京大夫

大膳大夫晴信

氏康子

式部大輔

里見氏連歌師

遠江守

細川玄首和歌門人







Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on aged, yellowed paper with a large, irregularly shaped section of the left side obscured by a piece of lighter-colored paper or tape. The visible text is arranged in several lines, with some characters appearing to be in a non-Latin script, possibly Arabic or Persian. The ink is dark and somewhat faded, and the paper shows signs of wear, including creases and discoloration.